

登録コード	UAC07500	開講年度	2026					
授業題目	哲学思想論研究Ⅶ					担当教員	早坂 俊廣	
						副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・5時限			
				授業形態	講義			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学，2 5 UAカリ・総人社・人間文化学							
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。					⇔	自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解を身につけている。	
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。					⇔	自身の専門分野に関する探求能力や検証能力、応用力を身につけている。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。					⇔	自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解に基づいた発信力、提案力を身につけている。	
(2)授業の概要	中国古代思想を論じた先行研究を講読し、内容に関する意見交換を行います。このような受講を通して、中国古代哲学に関する知識や見識を身につけることになります。							
(3)授業計画	第1週 ガイダンス 第2週 報告レジュメの作成方法 第3週 「死して亡びざる者は寿—『老子』の死生観—」講読・討議 第4週 「死生は命なり—『莊子』の死生観—」講読・討議 第5週 「不死への希求—神僊の形成—」講読・討議 第6週 「淮南王登仙の夢—『淮南子』の背景—」講読・討議 第7週 「孔孟の「命」について—人間性とその限界—」講読・討議 第8週 「「天」について—孔子の宗教的立場—」講読・討議 第9週 「「知命」について—人間存在の自覚—」講読・討議 第10週 「欲望のあり方—荀子の所説をめぐって—」講読・討議 第11週 「中国の欲望論—古代思想の諸相—」講読・討議 第12週 中国古代の死生観をめぐって 第13週 中国古代の運命観をめぐって 第14週 中国古代の欲望論をめぐって 第15週 まとめ 期末試験は行わない。							
(4)成績評価の方法	各回のeALPSへの参加姿勢と理解の水準を集積し、それをもとに総合的に評価します。 得点率による評価基準 90%以上 秀、89—80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。							
(5)成績評価の基準	成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。							
(6)事前事後学習の内容	事前に教科書の該当箇所を熟読玩味すること、事後に他の受講生の投稿を参考にして理解を深めることが必要です。							
(7)履修上の注意	大学院生としての自覚をもって履修してください。							
(8)質問、相談への対応	以下のアドレスにメールを送ってください。 hayask@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	金谷治『死と運命 中国古代の思索』（法蔵館文庫、2022年）							
【参考書】	使用しません。							